

令和5年度 第3回 学校運営協議会

日時 令和6年2月26日（月）

12時00分より

場所 池田中学校 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 学校長あいさつ

4 協 議

(1) 本年度の学校運営について【資料1】

(2) 学校評価について（結果と考察）【資料2】

(3) 来年度の学校支援活動について【資料3】

(4) その他

5 閉 会

【資料1】

「本年度の学校運営について」

《学校運営の基本方針》

学校目標

- 生徒一人一人に寄り添った指導を行う。
- 「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業を展開する。
- 高め合える教職員集団による働きやすい職場環境づくりをめざす。

- 生徒の成長が話題となる職員室づくり
- 声に出して生徒を褒めよう
- 生徒の認められる場を作ろう
- 若手教員からの相談や助言を通じて、組織全体としての指導力の向上

- 言語活動の充実が図られた授業展開
- 「ねらいの提示」「振り返りの設定」「話し合い活動の効果的な実施」「発問の工夫」
- タブレットを活用し、学びの幅を広げ、理解を深める。

「生徒・保護者のアンケート」や「教員の自己評価」からの考察

(1) 生徒・保護者との信頼関係の構築

- 生徒アンケート：「自分のことを理解してくれる先生がいる」で、80%の生徒が肯定的な回答をして、昨年度より5ポイント増加している。
- 保護者アンケート：「困ったことがあったら、学校に相談しやすい」で、68%の保護者が肯定的な回答をして、昨年度より2ポイント増加している。

(2) タブレットの活用と学力向上

- 生徒：「授業が分かりやすい」と感じている生徒が81%おり、昨年度より下がっている。授業に取り組む姿勢や課題提出等に差があり、学力向上は課題の一つとして捉えている。

○保護者：「学校は勉強を分かりやすく教えている」と感じている保護者が71%おり、昨年度と同じ割合である。

○タブレットや今年度市教委に購入していただいた電子黒板を使った授業に積極的に取り組み、生徒の学習意欲向上に繋げることができた。

（3）若手教員の育成・組織全体の指導力向上

○本年度も、OJT（オンザジョブトレーニング）を中心に若手教師の育成を図った。その結果、先輩教員（トレーナー）と若手教員（トレーニー）にさらに信頼関係が生まれ、意見や悩みを出しやすく、若手教員の育成につながった。若手教員だけの成長ではなく、先輩教員も人材育成の意識や経験を積むことが必要であり、これからの学校や教育界の発展・成長には必要である。また、学校運営を自分事として捉えられる教師が増えるよう支援を続けたい。

【資料3】

来年度の学校支援活動について

<今年度、学校運営協議会で提案し実現した学校支援活動>

①登下校の見守り（バスターミナル）

<成果>

- ・生徒の安心・安全になる。
- ・挨拶や礼儀をきちんとしようとする。
- ・大人の目があるので自分の行動に気をつけている。

<課題>

- ・人材の確保。

②書き初め大会（全学年9クラス）

<成果>

- ・生徒の指導が行き届く（教師とあわせて複数名いるため）。
- ・生徒のやる気につながる。
- ・地域に支えられていることを実感する。

<課題>

- ・人材の確保。（公民館にお任せになっている）

<来年度の学校支援活動について>

- ①今年度を実現できた活動は継続していきたい。
- ②コーディネーターによるボランティアの方との連絡調整を継続してお願いしたい。
- ③今年度は専門の教師がいたため実施しなかったが、専門性の必要な授業等は地域の方々の力を借りることができると良い。
- ④学校が担う業務が増えているので、いろいろな機関との連携が必要である。